

目 次

第2版はしがき
はしがき

第 I 部 国際航空輸送産業と政府——市場環境の変化——

第1章 航空輸送産業の特質と動向—— 2

§ 1 航空輸送産業の発展 2

- 1** 国際旅客輸送の担い手：海運と航空 (2) **2** 航空輸送産業
発展の特徴 (3) **3** エアライン・ビジネスの特徴 (9)
4 空運クラスター (11)

§ 2 LCC の急成長 13

- 1** LCC のビジネスモデル (13) **2** LCC の効果と進化 (17)

§ 3 航空輸送サービスの特質 18

- 1** 派生需要 (derived demand) (18) **2** 参入の容易さ (18)
3 経営環境の変化 (19)

第2章 日本の航空市場の発展と航空政策—— 21

§ 1 日本の航空市場の動向と構造 21

- 1** ゼロからの出発 (21) **2** 航空需要の動向：二眼レフ構造か
ら一極集中へ (24)

§ 2 日本の航空企業 27

- 1** 日本の定期航空企業 (27) **2** 小型機を使用した航空事業
(33)

§ 3 日本の航空政策の展開 33

- 1 45・47体制と競争促進策への転換：1985年12月航空憲法の廃止 (33) 2 航空法に基づく経済的規制とその緩和 (35)

第3章 米国における航空規制緩和政策—— 39
——米国国内航空産業の事例——

§ 1 米国国内航空の経済的規制をめぐる諸議論の展開 39

- 1 米国航空産業における規制とその問題点 (39) 2 規制をめぐる環境の変化と ADA の成立 (42)

§ 2 規制緩和以降の航空企業の経営戦略 44

- 1 参入規制の撤廃：活発な新規参入による競争激化 (45)
2 運賃規制の撤廃：割引運賃戦略 (46) 3 路線戦略：ハブ・アンド・スポーク型路線ネットワーク (47)

§ 3 規制緩和の評価 48

- 1 消費者の利益 (48) 2 消費者の不利益と行政当局の対応の失敗 (50) 3 規制緩和の課題 (51) 4 規制緩和の戦略性 (52)

第Ⅱ部 国際空運の制度的枠組み

第4章 国際航空輸送の制度的枠組み—— 56

§ 1 シカゴ会議と多国間協定 56

- 1 シカゴ会議 (56) 2 シカゴ会議の成果 (56)

§ 2 ICAO と IATA 59

- 1 ICAO の特色と機能：各国政府が加盟 (59) 2 IATA の役

割：航空企業が加盟（61）

§ 3 空の5つの自由（運輸権の分類） 62

第5章 国際航空における規制と競争——— 68

§ 1 二国間航空協定とバミューダ体制 68

1 二国間航空協定（68） **2** シカゴ・バミューダ体制（74）

3 航空ナショナリズム（75）

§ 2 商務協定からアライアンス（国際航空連合）へ 77

1 プール協定（運賃収入プール協定）（78） **2** 共同運航とコード・シェア（78） **3** アライアンス（国際航空連合）（79）

§ 3 国際航空における競争 81

1 伝統的寡占理論（82） **2** レガシー・キャリアとLCCの競争（83） **3** アライアンスの市場競争への影響（84）

第6章 国際航空における規制緩和の動き——— 86

§ 1 米国の国際航空規制緩和策：オープンスカイ政策（航空市場開放政策） 86

1 IATA（国際航空運送協会）との対立（86） **2** オープンスカイの推進（88）

§ 2 EUの国際航空政策：市場統合による新しい枠組み 89

1 自由化の進展：1984年イギリス／オランダ間新協定（89）

2 EUの統一航空政策（27カ国：当初加盟国12カ国）（90）

§ 3 日本の国際航空政策：世界の潮流に立ち遅れ 93

1 競争促進策への転換（94） **2** 国際航空自由化への対応（94） **3** 国際航空自由化の意義と今後の課題（97）

第Ⅲ部 航空経営論

第7章 航空サービスの費用——102

§ 1 会計的費用分析 102

1 費用分類 (102) 2 費用動向 (105)

§ 2 航空機材と運航パターン 107

1 機材規模の経済 (107) 2 航空機の速度・航続距離 (108)

3 運航パターン (110)

§ 3 航空費用の経済分析 112

1 規模の経済性 (112) 2 密度の経済性 (112) 3 範囲の経済性 (113) 4 ネットワークサイズの経済性 (114)

第8章 航空企業のプランニング——116

§ 1 航空輸送サービスの供給システム：航空サービスの供給に特徴的なインプット 116

1 機材（運搬具） (116) 2 労働力：国家資格と国際規制 (118) 3 燃料 (119) 4 空港 (120) 5 航空路 (121)

§ 2 ハブ・アンド・スポーク型路線ネットワーク 121

1 都市間ペアの効率的増大 (121) 2 ネットワーク効果 (122)

§ 3 航空企業の経営管理 123

1 労務管理：二重賃金制の導入 (123) 2 品質管理 (124)

3 航空機リース (126) 4 CSR への取り組みと地球環境問題 (128)

第9章 航空企業のマーケティング————— 129

§ 1 流通チャネル 129

- 1** ネット販売 (e-retailing) の進展 (129) **2** 旅行代理店
(travel agent) (130) **3** 企画旅行の航空運賃 (132)

§ 2 CRS (コンピュータ予約システムの相互接続によるネットワーク化) 133

- 1** コンピュータ予約システムの開発と競争 (133) **2** コンピ
ュータ予約システムの CRS 化とコード・シェア (135)

§ 3 航空企業間の国際的提携 (アライアンス) とマイレージ 137

- 1** アライアンスの目的 (137) **2** アライアンスのメリット
(137) **3** アライアンスの進化 (140) **4** 成否の鍵 (141)
5 マイレージ (FFP: 常顧客優待制度) (141)

第Ⅳ部 航空経済論

第10章 航空需要と観光————— 146

§ 1 航空輸送需要の特性 146

- 1** 市場細分化と特性把握 (146) **2** 旅客の選択 (148)

§ 2 航空需要の経済分析 150

- 1** 航空輸送需要の決定要因 (150) **2** 需要の価格弾力性 (e_1)
(151) **3** 価格政策への適用 (153)

§ 3 航空需要の成長分析 154

- 1** 需要の所得弾力性 (e_2) (154) **2** 経済成長と観光需要
(155)

第11章 航空運賃————— 157

- § 1 規制緩和と国内航空運賃体系の変化 157
 - 1 認可制から事前届出制に緩和 (157) 2 運賃規制緩和の影響 (159)
- § 2 国際航空運賃と IATA 162
 - 1 IATA の機能 (162) 2 国際航空運賃の構造：競争激化による各種料金の多様化 (163) 3 IATA の弱体化：運賃設定機能の低下 (165)
- § 3 規制緩和下の運賃戦略 167
 - 1 運賃戦略の策定 (167) 2 レベニュー・マネジメント (revenue management) (169)

第12章 航空貨物————— 174

- § 1 航空貨物の成長 174
 - 1 航空貨物の動向 (174) 2 航空貨物成長の要因 (177)
 - 3 航空貨物サービスの供給 (178)
- § 2 国際分業体制の確立と航空貨物輸送 179
 - 1 生産拠点の海外移転 (179) 2 国際工程間分業の進展 (180) 3 ロジスティクスを展開 (180)
- § 3 インテグレーター 182
 - 1 フォワーダー (forwarder：利用航空運送事業者) の概念 (182)
 - 2 国際宅配便 (183) 3 複合一貫輸送と Sea/Air 輸送 (183)
 - 4 インテグレーター (integrated carrier) (184)

第V部 空 港 問 題

第13章 わが国の空港制度と空港政策————— 188

§ 1 わが国の空港整備制度 188

- 1** 空港整備・運営の沿革と現状 (188) **2** 空港整備勘定 (191)

§ 2 空港政策の諸問題 195

- 1** 空港政策の問題点 (195) **2** 国際空港問題の対応策 (198)

§ 3 国際ハブ空港の機能と性格 202

- 1** 国際ハブ空港の類型とハブ空港をめぐる競争 (202)
2 国際拠点空港の容量不足による問題点 (204)

第14章 空 港 経 営————— 208

§ 1 空港の収入・費用構造 208

- 1** 航空系活動 (208) **2** 非航空系活動 (211) **3** 空港経営の採算性 (215)

§ 2 空港の所有・運営形態 217

- 1** 空港の所有形態：公的所有と民間所有 (217) **2** 空港運営の市場化：商業化・企業化 (218) **3** PPP/PFIによる空港整備 (219) **4** 空港債による資金調達：アメリカの事例 (220)

§ 3 空港民営化の潮流 221

- 1** 民営化の理論的背景 (221) **2** 民営化の方法 (223)
3 民営化の事例 (224) **4** 今後の展望 (227)

第15章 空港と地域経済————— 229

§ 1 空港の経済効果 229

- 1** 空港と地域経済 (229) **2** 空港と観光産業 (231)

§ 2 地方空港の活性化策 233

1 建設から経営の時代へ (233) **2** 活性化策の検討 (235)

3 補助制度：運航補助・搭乗率保証 (236)

§ 3 効率的な空港経営に向けて 238

1 複数空港の運営：個別経営と一括経営 (238) **2** 内陸機能

分離 (240) **3** 整備主体と経営主体の分離 (242)

参 考 文 献 (245)

索 引 (259)